

令和2年5月8日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
救急医療担当理事 高室 暁

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた  
妊産婦・小児に係る医療提供体制の整備について

標記の件につきまして、神奈川県医師会より通知がまいりましたので、お知らせ致します。

新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部長

新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた妊産婦・小児に係る医療提供体制の  
整備について（通知）

日頃から、本県の健康医療行政の推進に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた神奈川県の医療体制「神奈川モデル」については、「新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた医療体制の整備について（改定通知）」（令和2年4月16日付け新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部会議本部長）によりお知らせしているところですが、妊産婦、小児に係る搬送調整及び受入医療機関について、次のとおり整理しましたので、御理解と御協力のほど、よろしく申し上げます。

1-1 妊産婦

妊婦が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、症状にかかわらず分娩受入体制整備病院等に搬送する。疑似症や濃厚接触者の場合には、妊娠週数・状態に応じて搬送する。

搬送先は、各周産期ブロック基幹病院（神奈川県周産期医療救急システム）に所属する神奈川県災害時小児周産期リエゾン（別紙3参照）が調整する。

1-2 各医療機関群の定義と役割

(1) 受入体制整備病院等

ア 定義

分娩対応が可能かどうかに関わらず、新型コロナウイルスPCR陽性患者の入院体制が整備されている病院等

イ 役割

①新型コロナウイルスPCR陽性患者の入院管理（具体例は以下のとおり）

- ・妊娠36週までの産科管理を要さない妊婦
- ・妊娠37週以降の未陣発の妊婦
- ・妊娠36週までの入院が必要な産科合併症を有する妊婦
- ・分娩が切迫している妊婦（分娩対応が可能な場合）

②新型コロナウイルスPCR結果は不明だが、感染が疑われる患者の入院及び外来管理（具体例は以下のとおり）

- ・妊娠36週までの産科管理を要さない妊婦のうち中等症以上の患者
- ・妊娠37週以降の未陣発の妊婦のうち緊急を要する患者
- ・妊娠36週までの入院が必要な産科合併症を有する妊婦
- ・分娩が切迫している妊婦（分娩対応が可能な場合）



③濃厚接触者の入院管理(具体例は以下のとおり)

- ・妊娠36週までの入院が必要な産科合併症を有する妊婦
- ・分娩が切迫している妊婦(分娩対応が可能な場合)

④妊娠36週までの産科管理を要さない妊婦のうち、病状が悪化した際の受入診療

(2) 分娩受入体制整備病院等

ア 定義

受入体制整備病院等のうち、分娩対応のための体制が整備されている病院等

イ 役割

①受入体制整備病院等の役割①～④と同じ

②受入体制整備病院等のうち分娩対応が困難な病院等に入院中、分娩が切迫した患者の受入診療

1-3 自宅における療養

妊娠36週までの産科管理を要さない妊婦については、疑似症で軽症の場合、自宅等で厳重経過観察を行う。その他の妊婦は原則として入院管理を行う。

2-1 小児

症状に応じて「重症」「中等症」「無症状・軽症」の3パターンに分け、「重症」「中等症」については、小児COVID受入医療機関に搬送する。「無症状・軽症」については、自宅でのモニタリングを基本とする。

「中等症」の搬送先は、各ブロック内の小児COVID受入医療機関を統括する小児ブロック拠点施設の実務連絡者が調整する。「中等症」が悪化してきた時点で神奈川県小児COVID重症ホットライン(090-2467-4016)と情報共有するとともに、転院可能性に備えて転院先や搬送方法等を調整する。患者の転送については、保健所と情報共有する。(別紙4～5参照)

2-2 各医療機関群の定義と役割

(1) 小児COVID受入医療機関

ア 定義

点滴や酸素投与等が必要な新型コロナウイルスPCR陽性あるいは疑似症の中等症患者を受け入れる医療機関

イ 役割

①新型コロナウイルスPCR陽性の中等症患者の入院管理(具体例は以下のとおり)

- ・点滴加療、酸素投与が必要な患者
- ・感染リスクが高い心疾患などの既往疾患があり経過観察が必要な患者 等

②軽症患者の病状が悪化した際の受入診療

③小児COVID高度医療機関の入院管理にて病状が軽快した患者の入院管理

④PCR結果は不明だが疑似症のある患者の入院管理

⑤PCR検査は未実施だが疑いのある患者の外来・入院管理

⑥新型コロナウイルスPCR陽性だが、新型コロナウイルス感染症以外の疾患が悪化した患者の外来・入院管理

## (2) 小児COVID高度医療機関

### ア 定義

小児COVID受入医療機関のうち、PICU等病床を有し、新型コロナウイルスPCR陽性あるいは疑似症の、重症患者の入院管理を行う医療機関

### イ 役割

- ① 新型コロナウイルスPCR陽性の重症患者の入院管理(具体例は以下のとおり)
  - ・気管挿管・人工呼吸管理・ECMO管理等が必要な患者
  - ・その他PICU管理等が必要な患者
  - ・近々気管挿管が必要になるなど重症化が予測される患者
- ② 新型コロナウイルスPCR結果は不明だが、感染が疑われる重症患者の入院管理
- ③ 小児COVID受入医療機関等で重症化した患者の入院管理

## 2-3 自宅における療養の留意点

### (1) 自宅療養対象者の定義

PCR結果が陽性であっても軽症又は無症状の者

### (2) 自宅療養を指示した医療機関の役割

#### ア 健康情報の聴取

食事アレルギーなど、健康に関する情報を聴取する。

#### イ 薬剤の処方

服用中の薬剤がある場合は2～3週間分を処方する。

### (3) 自宅療養者へのフォローアップ

容態の悪化を自覚した場合は神奈川県コロナ119番(045-285-1019)へ連絡する。  
なお、それ以外の一般的な相談は神奈川県療養サポート窓口(045-285-0598)に連絡する。

### (添付資料)

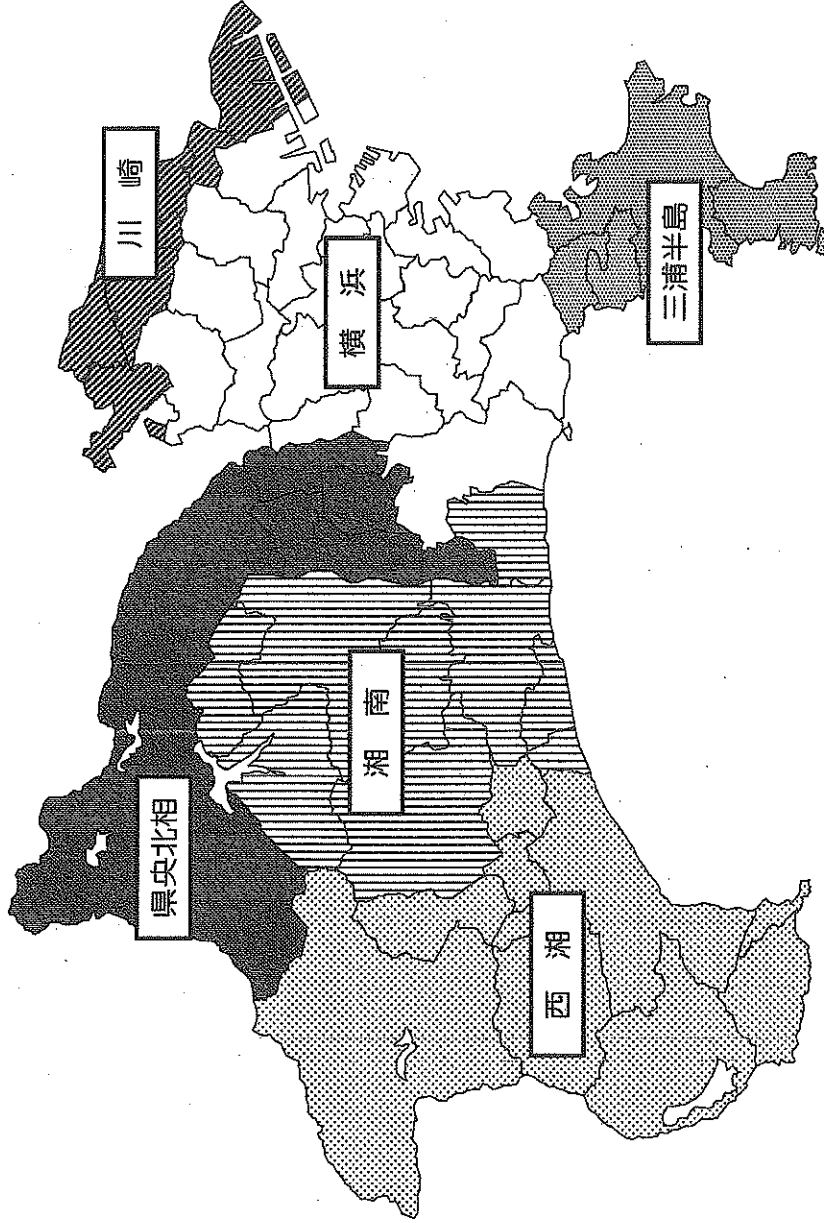
- |     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 別紙1 | ・周産期ブロック (神奈川県周産期救急医療システム)  |
| 別紙2 | ・周産期コンタクトリスト                |
| 別紙3 | ・神奈川県災害時小児周産期リエゾンリスト        |
| 別紙4 | ・小児COVID受入医療機関・ブロック構成       |
| 別紙5 | ・小児COVID病床調整等 地区担当者・実務連絡者名簿 |

問合せ先

特命・行政連携班 農澤、田村、吉田  
電話 045-285-0776 (直通)

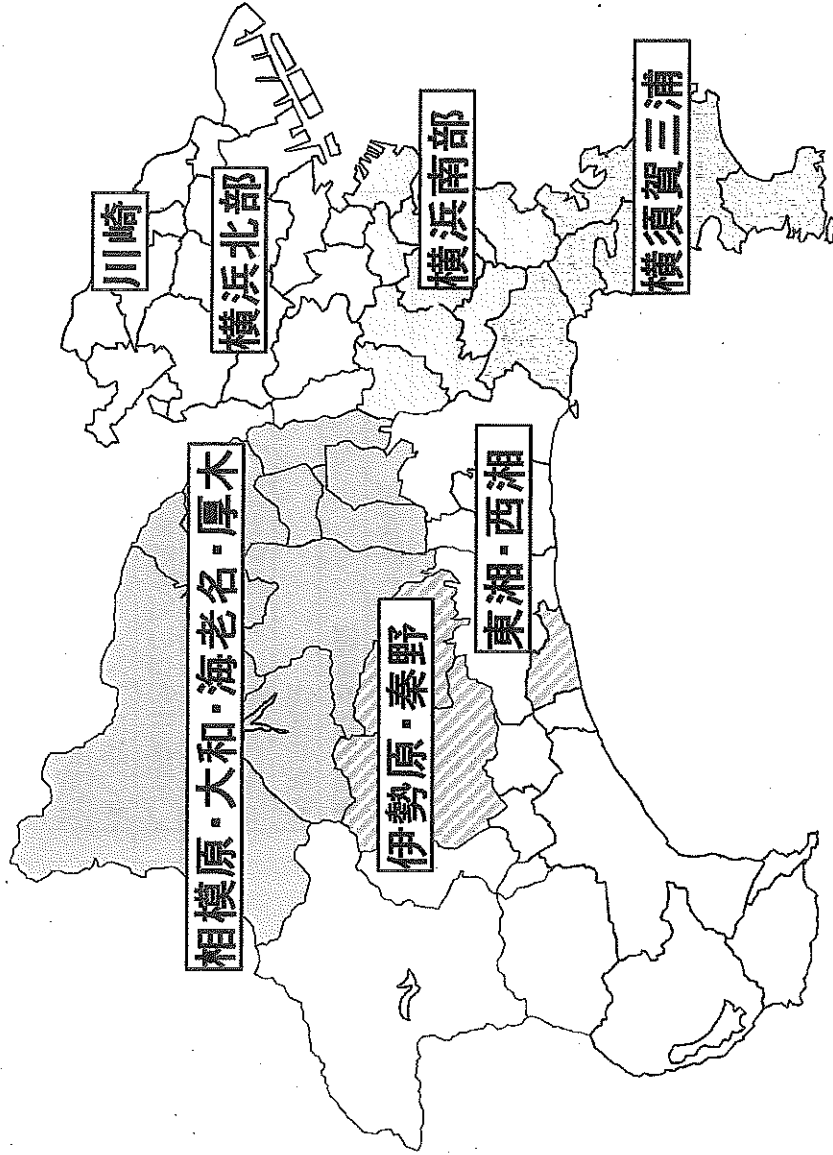
# 周産期ブロック（神奈川県周産期救急医療システム）

## 別紙1



地域	市町村
横浜	横浜・鎌倉・藤沢
川崎	川崎
三浦半島	横須賀・逗子・三浦・葉山
湘南	平塚・茅ヶ崎・秦野・厚木・伊勢原・大磯・二宮・愛川・清川
西湘	小田原・南足柄・中井・大井・松田・山北・開成・箱根・真鶴・湯河原
県央北相	相模原・大和・海老名・座間・綾瀬・寒川

# 小見科ブロック



地域	市町村
横浜北部	横浜 (青葉・都筑・港北・鶴見・神奈川・緑・瀬谷・旭・保土ヶ谷・西)
横浜南部	横浜 (中・南・江南・磯子・金沢・泉・戸塚・栄)
川崎	川崎
横須賀三浦	横須賀・逗子・三浦・葉山・鎌倉
相模原・大和・海老名・厚木	相模原・大和・海老名・座間・綾瀬・厚木・愛川・清川
伊勢原・秦野	伊勢原・秦野・大磯
東湘・西湘	藤沢・茅ヶ崎・寒川・平塚・二宮・小田原・南足柄・中井・大井・松田・山北・開成・箱根・真鶴・湯河原

# 小児COVID受入医療機関 ブロック構成

小児ブロック	病院	小児ブロック	病院
横浜北部	★昭和大学横浜市北部病院	相模原・大和・ 海老名・厚木	★○北里大学病院
	○聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		大和市立病院
	済生会横浜市東部病院		海老名総合病院
	横浜労災病院		相模原協同病院
	横浜市立市民病院		相模野病院
	昭和大学藤が丘病院（入院病床なし）		国立病院機構 相模原病院
	けいゆう病院		相模台病院
	横浜市立大学附属病院		相模原赤十字病院（入院病床なし）
	★○横浜市立大学附属市民総合医療センター		厚木市立病院
	済生会横浜市南部病院		★東海大学医学部付属病院
横浜南部	国立病院機構 横浜医療センター	伊勢原・秦野	伊勢原協同病院
	横浜市立みなと赤十字病院		秦野赤十字病院
	横浜南共済病院		東海大学医学部付属大磯病院
	汐見台病院		★○藤沢市民病院
	国際親善病院（入院病床なし）		茅ヶ崎市立病院
	横浜栄共済病院（入院病床なし）		平塚市民病院
	○神奈川県立こども医療センター		小田原市立病院
	★○聖マリアンナ医科大学病院		県立足柄上病院（入院病床なし）
	川崎市立川崎病院		湘南鎌倉総合病院
	川崎協同病院		★横須賀市立うわまち病院
川崎	川崎市立多摩病院	横須賀・三浦	横須賀市立市民病院（入院病床なし）
	新百合が丘総合病院		横須賀共済病院
	帝京大学附属溝口病院		三浦市立病院（入院病床なし）
	日本医科大学武蔵小杉病院		★小児ブロック拠点施設 ○小児COVID高度医療機関